

毎日新聞社主催「ぼうさい甲子園」で特別賞を受賞しました。9ページをご覧ください。



新宮東中学校

仲間・地域と誠実に繋がり、新しい学校文化・伝統の創り手となる生徒の育成

新宮東中学校は昨年4月に開校し、もうすぐ3年生が第1期卒業生として学び舎を巣立ちます。この一年間は試行錯誤しながらも、地域のみなさんや保護者に支えられ、子どもたちは健やかに成長してきました。これからも本校の使命として、学校教育をとおして町民の住み心地と安全・安心に寄与していきたいと考えています。本校の学校教育の重点である学校安全(生活安全、交通安全、災害安全)の取り組みを紹介します。

1年生の取り組み —総合的な学習「自助・共助・公助～中学生の私たちにできること」で未来につなぐ—

私たちの住む日本は、世界有数の地震国です。本校では「安全・安心の防災活動拠点校」としての役割を果たすべく、「自助・共助・公助～中学生の私たちにできること」をテーマに学習しました。9月の「総合ウィーク3日間」には、福岡和白病院からドクターヘリ、粕屋北部消防本部から救急車や消防車などの派遣協力を得て、被災したときに欠かせない緊急車両などを間近で見学しました。また、博多あん・あんリーダー会からは「HUG(避難所運営ゲーム)」を学びました。さらに、各行政区長の協力を得て、それぞれの区の通学路における危険箇所をまとめるためにフィールドワークをしたり、地域の一時避難所となる公民館の調査活動



▲授業参観で保護者と一緒に「HUG」に挑戦

を行ったりするなど、各行政区の現状をまとめました。そして、学んだ成果を12月の授業参観で発表しました。保護者と一緒に「HUG」を行ったことで防災への意識が高まり、理解が深まりました。

2年生の取り組み

—相島のBFC活動に学び、修学旅行先の神戸市での防災学習につなぐ—

1月14日に、相島分校の1年生・2年生が相島少年消防クラブ(相島BFC)の活動である軽可搬ポンプ操法を実演してくれました。「自分たちの島は自分たちで守る」という同級生のきびきびと真剣に行う姿に「すごい迫力」「カッコいい」など、大きな刺激を受けました。

翌日から3日間、神戸・京都・奈良への修学旅行に行き、「学創(きょうそう)」というテーマで多くのことを学んできました。なかでも1月17日は阪神淡路大震災から



▲人と防災未来センター施設見学の様子

25年という節目であったこともあり、初日は神戸市の「人と防災未来センター」で学習しました。子どもたちにとっては生まれる前のことですが、前日に相島BFCの操法を見たこともあり、全員が真剣に学んでいました。「自分たちの町は自分たちで守る」という意識が少しずつ高まっています。

※「学創」というテーマで学習しているため、修学旅行も「学」を使用しています。